

かみさと



学校教育目標
豊かな心もち
他のために行動できる子
やさしく かしく
たくましく

㊦んがえて行動 ㊦んなにあいさつ
㊦そい合って働く ㊦もだちを大切に

さいたま市立上里小学校 学校だより
発行者 校長 梶山 崇 〒339-0006

さいたま市岩槻区上里2丁目2番地
令和4年8月26日(金) 8、9月号

TEL048-794-2316 メール: kamisato-e@saitama-city.ed.jp

短冊に込められた思い、願い

校長 梶山 崇

教室に元気な子どもたちの声もどってきました。やはり学校には子どもたちの元気な声がないとさびしいですね。

さて、7月上旬から1学期の終業式まで、児童の下駄箱のある廊下のボードに子どもたちが願いごとを書いた七夕の短冊が貼ってありました。これは児童会の運営委員の子どもたちの発案で、上里小学校への願いをみんなに書いてほしいということから始まりました。

私はそこを通るたびに、子どもたちが書いた短冊が増えてきていて、とてもうれしい気持ちになりました。どの子の上里小学校へのお願いもその子の思い、願いが書かれていて、とてもすばらしいです。

子どもたちの願いで主だったものは、「みんながなかよくなれますように」「学校に元気で明るく楽しく通えますように」、「いじめがありませんように」「あいさつがもっとできますように」「みんなでルールが守れますように」「すべてのトイレがきれいになりますように」(注:集約したため、表現は一部変えています)などがありました。その他にも「みんなで元気においしく給食が食べられますように」など、毎日の給食に感謝の気持ちを述べたものや「行事がなくなりませんように」、「コロナがなくなりますように」など、ここ2年半あまりコロナ禍が続いたり、いろいろな行事が中止となってしまったりしたことを反映した願いもありました。また、学校週5日制が定着し、6時間授業が増えたことについて、「6時間授業や宿題が少なくなりますように」というのもありました。子どもの正直な気持ちにふれられてうれしいです。ちなみに私が小学生の頃は、学校週5日制などはなく、特に6月は祝日が1日もなく、休みは日曜日だけだったので、子ども心にも「あ～あ」という気持ちがあったことは覚えています。

2学期も子どもたちの思いや願いも鑑みながら、教育活動を行っていきます。子どもたちの笑顔が見られるよう、教職員一同、指導、支援に努めますので、2学期もよろしく願いいたします。